

提出日 2013年5月17日

## 武蔵野市地上部街路話し合いの会資料 9-6 に関する質問

構成員 古谷 圭一

第14回話し合いの会(2013年4月25日開催)において説明された資料9-6について当日の質問を整理して提出し、これについて回答を頂くことになった(第14回会議議事録23ページ参照)ので、以下に質問を列挙いたします。

なお、太字部分は資料9-6の文章、下線部は古谷の質問内容です。

1. 資料9-6、p.1: 「**2001年4月の「東京外かく環状道路(関越道-東名道路)計画たたき台(地下構造)公表の④住宅・地域コミュニティを維持する場合は、その後、いつ、どのような理由でなくなったのか。その記録の所在、資料番号を教えてください。**
2. p.2: 2002年11月の項目 「**有識者委員会最終提言**」の今後の議論においては、「**移転家屋数を出来る限り少なくして、地元住民への影響を軽減化することが、もっとも重要視すべき観点である。**」とあるが、もっとも重視すべき観点である地元住民への影響を軽減化した提案が本第1回「話し合いの会」資料-6と理解して良いのか。それはどこで議論されたのか。また、現在の東京都の提案計画のどこに、どのように反映されているのか
3. p.2: 2003年3月の項目 **極力大深度空間地下にする 地元において地上部整備の方向が定まった場合大深度区間であっても地元の意向を踏まえながらその整備を支援していくとあるが、「大深度区間であっても」は武蔵野市に相当するが、地上部整備の3案のみが出されている理由を示して下さい。**
4. p.2: 5月の項目 「**高速道路の議論がある程度集約された段階で地上部街路の議論を行うこととする。**」の成田部長の約束は、住民の方はご存じないようですが、住民という話しあわれて、都市計画変更が進められたのでしょうか。その記録の所在を教えてください。また、外環にかかわる計画の見直しにあたり、地上部街路については街路の機能として不必要な部分は廃止となるとあるが、これは地上部街路に関する本第1回「話し合いの会」資料-6の代替え案とどのような関係にあるのか、その理由を示した記録を示して下さい。また、不必要ならば廃止となることは現在でも前提であると理解して良いのでしょうか。
5. p.2: ■外環ジャーナル12号の項目 **外環に係る計画の見直しにあたり、地上部街路については、地元の意向を踏まえて街路の機能として不必要な部分は廃止となり、必要部分は整備することとなる**とあるが、本会で議論している地上部街路のことでしょうか。そうならば、ここでも、地元の意向を踏まえて、街路としての機能は①環境、②防災、③交通、④暮らししかないのは何故でしょうか。⑤コミュニティーの保全としての機能はなぜないかの理由を示して下さい。

6. p. 3: 8月の項目 地上部で長年権利制限をかけてきた人たちへの補償について考えて  
についてはどのような段階にあるのか。これまで、グリーンベルトなどの一定のオープ  
ンスペースについての議論は行われていないようですが、どうなのでしょう。
7. p. 3: 2005年1月 本質問1、質問2と関連して③代替え機能を確保して都市計画を廃  
止となった経過を説明して下さい。ここでの代替え機能は、2001年の4月のメニュー  
なのではないでしょうか。
8. p. 3: 2007年1月 武蔵野市長: 外環の2の必要性は認識していない。都は廃止するこ  
とを含めて、計画の方向性、検討のプロセスを明らかにせよ。とあるが、これまで「廃  
止することを含めて計画の検討をしたことがあるかを示して下さい。ないのならば、武  
蔵野市に関して、都の3つの代替え案提示は段階を踏んでいないのではないでしょ  
うか。
9. p. 3: 2007年4月 都市計画変更決定(地下方式) 附属街路廃止とあるが、これはど  
ういうことでしょうか。
10. p. 4: 「資料6」武蔵野市長の発言、必要性については甚だ疑問であるということか  
ら、・・・廃止を含めた議論をきちんとしてほしい。その議論に当たって必要ないろ  
ろな情報、データを公開してほしいとあるが、廃止を含めた議論はきちんとなされたの  
かについて情報、データがこれまで公開されていない理由と、(非公開であっても)その  
記録の場所を示して下さい。

以上